

そうせランチタイムス

平成29年1月号
匝瑳市学校給食センター

新しい年がスタートしました。今年も、お便りを通して、給食や食に関する情報をお知らせしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



全国学校給食週間 1月24日～30日



学校給食は、栄養のバランスのとれた食事によって子どもたちの成長を支え、「生きた教材」として、望ましい食事のとり方の手本となる役割があります。そして食べることを通して社会の仕組みも学んでいきます。

1月24日は『給食記念日』。24日からの1週間は「全国学校給食週間」となります。学校給食の大切な意義や役割について理解を深め、関心を高めてもらう期間です。そこで、給食の思い出について、匝瑳市教育委員会の二村好美教育長と、平和小学校の大木浩校長先生にインタビューしました。

給食のおもいで

- ①心に残ったメニュー
- ②給食の思い出



教育委員会 二村好美教育長

①揚げパン



②須賀小は、市内でどこよりも早く（昭和29年7月）単独校給食が始まり、授業中に揚げパンのいいにおいがしてきました。給食のあま～い思い出です。

平和小 大木浩校長先生

①カレー



②11時頃遊んでいると、おいしい匂いが鼻をかすめ、給食への期待が高まったことを覚えています。調理場のおばちゃんに、かぶっていた三角巾を結び直してもらったり、「ごちそうさま」と言って食器を返したりと、日々色々な交流がありました。自校給食ならではの楽しい思い出です。

棒もち（性学もち）



精米・洗米し、一晚浸水した米を7kgずつセイロで蒸します。蒸す時間は、職人の勤をたよりに季節によって変えているそうです。



蒸した米を餅つき機に入れます。



『棒もちの七草雑煮』として1月10日の給食に登場しました。

この後、さらにもう一回つき20cmの棒状にします。



1月の食材を紹介します

棒もちほうち米を使ってつく棒状の餅で、柔らかく一日たっても固まることなくおいしく食べられます。今回は、大浦の須合さんの加工所におじゃまして、製造工程を見せていただきました。



90kgの棒もちが給食センターに納品されました。大量のため、前日から作っていただきました。



須合さん親子は毎朝5時から棒もちを作っています。年末は大忙しです！



まちがいさがし ～鏡開き～

右と左の絵には、ちがうところが5つあります。全部見つけられるかな？

